様式第２号の１－①【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の１－②を用いること。

学校名	今治明徳短期大学
設置者名	学校法人　今治明徳学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計		
	ライフデザイン学科 介護福祉コース	夜・通信	30	0	70	100	7	
	ライフデザイン学科 調理ビジネスコース	夜・通信		0	24	54	7	
	ライフデザイン学科 国際観光ビジネコース	夜・通信		0	10	40	7	
	ライフデザイン学科 地域未来創生コース	夜・通信		0	8	38	7	
	幼児教育学科	夜・通信		0	36	66	7	
（備考）								

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://www.meitan.ac.jp/syllabus2026/parts/jitsumu2026.pdf

３．要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	今治明徳短期大学
設置者名	学校法人　今治明徳学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai/15_02.pdf

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会社役員	令和７年６月 20 日～令和８年９月５日	業務執行理事総務担当
非常勤	他学校法人役員	令和７年６月 20 日～令和８年９月５日	適正な学校運営
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	今治明徳短期大学
設置者名	学校法人　今治明徳学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

１．授業計画書作成前に、シラバス作成要領を配布し説明を行う。
要綱には、授業計画書に記載する内容（科目名・担当・DP にある学修目標との関連・授業の目的とテーマ・到達目標・全体計画・時間外学習・評価方法・使用テキストなど）の各項目について、注意事項が記載されている。
２．各教員が授業計画書を作成
３．作成された授業計画書を、作成者以外の教員でチェックを行い、記入漏れや訂正箇所、不足事項などあれば修正する。
４．すべての授業計画書は、履修指導前に公表する。

授業計画書の公表方法	https://www.meitan.ac.jp/syllabus2026/

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

学習支援については、指導教員及び教務委員会による履修モデルに基づいた指導を定期的に行っている。
各授業の単位認定は、科目担当者の評価が合格点に達していることで認定する。
成績評価の基準は、授業計画書において「定期試験 50%、授業中に行う小テスト 30%、授業への参加度 20%」など、評価基準の割合を明示している。成績は、秀・優・良・可・不可の５段階で示すこととしている。
また、各授業科目の単位が認定され、累積されて卒業要件単位を充足した学生は、教授会の意見を聞いて、学長が卒業を認定する。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

適切な学習指導に資するため、ＧＰＡを算定する制度を定めている。
ＧＰＡは、成績優秀者に対する学長賞等の表彰及び成績不振者に対する指導、退学勧告に用いる。
ＧＰＡの算出の対象授業科目は、５段階の成績評価によって成績を受けた授業科目であり、本学で開講されているすべての科目となる。
ＧＰは、成績の段階ごとに、「秀 4.00、優 3.00、良 2.00、可 1.00、不可・評価外 0.00」を付与する。
ＧＰＡは学期ＧＰＡ（学期ごと）と累積ＧＰＡ（入学期から当学期まで）の２種類としており、それぞれの計算方法は以下のとおりである。

・学期ＧＰＡ

$$\frac{\text{（当該期に評価を受けた科目のＧＰ×その科目の単位数）の合計}}{\text{当該期の総履修登録単位数}}$$

・累積ＧＰＡ

$$\frac{\text{（各学期に評価を受けた科目のＧＰ×その科目の単位数）の総和}}{\text{総履修登録単位数}}$$

客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai/06_03.pdf

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

本学に２年以上在学し、所定の授業科目の単位が認定され累積されて卒業要件単位を充足した学生は、教授会の審議を経て、学長が卒業を認定する。
学長は、卒業を認定した者に、本学学位規程の定めるところにより短期大学士の学位を授与する。

・学則第 50 条
・大学 DP、学科 DP
・アセスメントポリシー（学修成果の評価の方針）

卒業の認定に関する方針の公表方法	https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai/06_02.pdf https://www.meitan.ac.jp/daigaku/admpolicy.html#DP https://www.meitan.ac.jp/daigaku/admpolicy.html#AS

様式第２号の４－①【⑷財務・経営情報の公表（大学・短期大学・高等専門学校）】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第２号の４－②を用いること。

学校名	今治明徳短期大学
設置者名	学校法人　今治明徳学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai/13_02.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai/13_01.pdf
財産目録	https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai/13_03.pdf
事業報告書	https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai/13_04.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai/13_05.pdf

２．事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：令和８度事業計画　　対象年度：令和８年度）
公表方法：https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai/16_03.pdf
中長期計画（名称：学校法人　今治明徳学園　中長期計画　対象年度：令和８年度～令和12年度）
公表方法：https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai/16_01.pdf

３．教育活動に係る情報

（１）自己点検・評価の結果

公表方法：https://www.meitan.ac.jp/daigaku/hyoka.html

（２）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：https://www.meitan.ac.jp/daigaku/hyoka.html

（３）学校教育法施行規則第 172 条の２第１項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名　ライフデザイン学科、幼児教育学科
教育研究上の目的（公表方法：https://www.meitan.ac.jp/daigaku/policy.html）
（概要） ＜ライフデザイン学科＞ １　本学科が培ってきた教育の伝統を継承しつつ、新しい時代にふさわしい人間性豊かな人材として育ち、社会生活の多様化に適応して自己判断・自己選択できる能力を養い、将来の確かなライフデザインを構築すること。 ２　将来を見据え、社会に貢献できる専門性の高い知識と実践力を身に付け、必要な免許資格を取得すること。 ＜幼児教育学科＞ 深い知性と高い徳性を具えた人間、また柔軟で創造的な心性に基づく優れた専門能力をもつ保育者となること。
卒業又は修了の認定に関する方針 （公表方法：https://www.meitan.ac.jp/daigaku/admpolicy.html）
（概要） ＜ライフデザイン学科＞ 学科の教育目的・目標に基づき、各コースの学修目標を達成するために開設される教育課程の科目を修め、学則に定める成績評価に基づき、卒業に必要な単位を修得し、かつ、各コースの特色を活かし、専門職業人としての専門的な知識及び技能、多様なニーズに対応できる実践力、また、主体性を持ち他と協働しつつ地域社会に貢献できる資質を身に付けた者に対して短期大学士の学位（生活科学）を授与する。 ＜幼児教育学科＞ 学科の教育目的・目標に基づき、本学科の学修目標を達成するために開設される教育課程の科目を修め、学則に定める成績評価に基づき、卒業に必要な単位を修得し、かつ、保育者としての専門的な知識及び技能、多様なニーズに対応できる保育実践力、また、主体性を持ち他と協働しつつ地域社会に貢献できる資質を身に付けた者に対して短期大学士の学位（教育学）を授与する。
教育課程の編成及び実施に関する方針 （公表方法：https://www.meitan.ac.jp/daigaku/admpolicy.html）
【概要】 ＜全学共通＞ １　地域志向科目である「地域活性化論」「地域交流演習」を開講し、学生主体による地域課題解決に向けての学び、地域貢献力を高める学びを実現する。 ２　人間、社会、異文化をキーワードとした科目を開講し、社会・文化理解を深め、多様な考え方を認め、柔軟な思考力を高める学びを実現する。 ３　「キャリアデザイン」「データサイエンスリテラシー」「情報処理」の科目を開講

し、情報知識・技能、情報活用力を高め、専門職業人として必要な実践力を高める学びを実現する。
4　豊かな人間性を培い、実践力を身に付ける科目を開講し、人間関係力、自己研鑽力を培い、生活する中での実践力を身に付ける学びを実現する。
5　専門教育科目を含めた教育課程全体を通して人間関係力、自己研鑽力につながる系統的、総合的な学び、主体的、協働的な学びを実現する。

＜ライフデザイン学科　介護福祉コース＞
1　介護福祉に関わる専門職として、必要な素養を身に付けられることを目指す。
2　介護福祉に関わる専門職として、倫理観を持ち、必要な専門知識と技能の修得を目指す。
3　介護福祉に関わる専門職として、実習及び地域の社会活動を通して、介護福祉士として必要な思考力・判断力・介護実践力及び研究力を培うことを目指す。
4　介護福祉に関わる専門職として、必要な多職種との連携の必要性を理解することを目指す。

＜ライフデザイン学科　調理ビジネスコース＞
1　調理師として必要な専門的知識と技能の修得を目指す。
2　調理師として必要な思考力・判断力・表現力の涵養を目指す。
3　調理師として主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度の涵養を目指す。
4　教育課程全体を通して人間関係力、自己研鑽力につながる系統的、総合的な学びを実現する。

＜ライフデザイン学科　国際観光ビジネスコース＞
1　観光分野に関する教育課程を編成し、国内観光業務取扱管理者として必要な専門的知識とホスピタリティー技能の修得を目指す。
2　国際コミュニケーション分野に関する教育課程を編成し、英語や中国語（留学生に日本語）など実用的な外国語会話の修得を目指す。
3　ビジネス分野に関する教育課程を編成し、ビジネス社会において必要な専門的知識や技能の修得を目指す。

＜ライフデザイン学科　地域未来創生コース＞
1　地域の歴史文化・観光・産業など、フィールドワークを中心とした地域に関する教育課程を編成し、地域づくりの担い手として必要な専門的知識・技術の修得を目指す。
2　ICT に関する教育課程を編成し、地域への情報発信ができる情報知識・技能、情報活用力の修得を目指す。
3　地域の課題解決に向けた地域探究、企業等へのインターンシップに関する教育課程を編成し、実践的な体験を通して主体性、協働性、地域貢献力の向上を目指す。

＜幼児教育学科＞
1　保育者として必要な専門的知識と技能の修得を目指す。
2　保育者として必要な思考力・判断力・表現力及び保育実践力の涵養を目指す。

３　保育者として地域社会で主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度の涵養を目指す。
４　教育課程全体を通して人間関係力、自己研鑽力につながる系統的、総合的な学びを実現する。

入学者の受入れに関する方針
（公表方法：https://www.meitan.ac.jp/daigaku/admpolicy.html）

（概要）
＜全学共通＞
建学の精神に基づき、自己研鑽、地域貢献、主体的で協働的な学びに意欲があり、入学後の修学に必要な基礎的学力を有する者。

＜ライフデザイン学科　介護福祉コース＞
１（知識、技能）入学後の修学に必要な基礎的学力を有する者。
２（思考力、判断力、表現力）他者の生活課題を的確に把握し、多様な方法でもって対応することができる者。
３（主体性、多様性）他者の心に寄り添え、介護福祉観を身に付けることができる者。介護福祉への関心が高く、地域に住まう他者の人生・生活を支える情熱を持っている者。
４（地域貢献力、協働性）豊かな感性を備え、人と関わり協力し、地域住民と協働し、地域社会に貢献する志のある者。

＜ライフデザイン学科　調理ビジネスコース＞
１（知識、技能）入学後の修学に必要な基礎的能力を有する者。
２（思考力、表現力、多様性）自らの目標を設定し、自分の意見や考えを的確に表現し多様な方法でもって対応できる者。
３（主体性、判断力）自らの意思で柔軟性を持った学びができる者。
４（地域貢献力、協働性）社会に奉仕し、地域や社会発展に貢献する意欲を持つ者。

＜ライフデザイン学科　国際観光ビジネスコース＞
１（知識、技能）入学後の修学に必要な情報知識及びビジネススキルの力を有している者。
２（思考力、判断力、表現力）専門的知識を学び、資格を取得し、それを活用できる者。
３（主体性、多様性、協働性）異文化理解を深めることができ、国際観光ビジネスへの関心が高く、自身が学びたい分野で多様な人々と協働して地域社会で活躍していきたいという意欲を持つ者。

＜ライフデザイン学科　地域未来創生コース＞
１（知識、技能）入学後の修学に必要な基礎的学力を有する者。
２（思考力、判断力、表現力、多様性）自らの目標を設定し、自分の意見や考えを的確に　表現し、多様な方法で対応できる者。
３（主体性、協働性、地域志向性、地域貢献力）地域社会への関心を持ち、地域の資源や人々と交流することにより、地域貢献への意欲を持つ者。

＜幼児教育学科＞
１（知識、技能）入学後の修学に必要な基礎的学力を有する者。
２（思考力、判断力、表現力）入学までに身に付けた知識や技能を用い、自ら考え、適切な方法で表現できる者。
３（主体性、多様性、協働性）保育者（幼稚園教諭・保育士）を目指し、その目的を達成するために、積極的に学ぶ意欲及び他者と協力しつつ課題に取り組む姿勢がある者。また、地域に根差し、地域社会全体での子育てに取り組む実践力の修得を目指す者。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai.html（2.教育研究組織）

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a.教員数（本務者）

学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計
－	２人	－					２人
ライフデザイン学科	－	３人	１人	８人	人	１人	１３人
幼児教育学科	－	１人	１人	３人	人	人	５人

b.教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
人	４４人	４４人

各教員の有する学位及び業績（教員データベース等）	公表方法：http://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai/03_03/

c.ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a.入学者の数、収容定員、在学する学生の数等

学部等名	入学定員(a)	入学者数(b)	b/a	収容定員(c)	在学生数(d)	d/c	編入学定員	編入学者数
ライフデザイン学科	100 人	124 人	124%	200 人	249 人	124.5%	人	人
幼児教育学科	30 人	24 人	80%	60 人	41 人	68.3%	人	人
合計	130 人	148 人	113.8%	260 人	290 人	111.5%	人	人

（備考）

b.卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数

学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数（自営業を含む。）	その他
ライフデザイン学科	86 人（100%）	28 人（32.6%）	40 人（46.5%）	18 人（20.9%）
幼児教育学科	13 人（100%）	1 人（7.9%）	11 人（84.6%）	1 人（7.9%）
合計	99 人（100%）	29 人（29.2%）	51 人（ 51.5%）	19 人（19.2%）

（主な進学先・就職先）（任意記載事項）

（備考）

c.修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
合計	人 (100%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)	人 (　　%)
（備考）					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

（概要）

1　授業計画書作成前に、シラバス作成要領を配布し説明を行う。
　　要領には、授業計画書に記載する内容（科目名・担当・DP との関連・授業の目的とテーマ・到達目標・全体計画・時間外学習・評価方法・使用テキストなど）の各項目について、注意事項が記載されている。

2　各教員が授業計画書を作成

3　作成された授業計画書を、作成者以外の教員でチェックを行い、記入漏れや訂正箇所、不足事項などあれば修正する

4　すべての授業計画書は、履修指導前に公表する

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

（概要）

・学修成果に係る評価
　ＧＰＡ制度を採用し、成績優秀者は学長表彰等、成績不振者は個別指導・退学勧告等を実施

・卒業判定
　２年以上在学し、所定の授業科目の単位が認定され累積されて卒業要件単位を充足した学生は、教授会の審議を経て、学長が卒業を認定する。
　学長は、卒業を認定した者に、本学学位規定の定めるところにより短期大学士の学位を授与する。（学則第 50 条）

学部名	学科名	卒業又は修了に必要となる単位数	ＧＰＡ制度の採用（任意記載事項）	履修単位の登録上限（任意記載事項）
	ライフデザイン学科	62 単位	(有)・無	28 単位
	幼児教育学科	62 単位	(有)・無	28 単位
ＧＰＡの活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報（任意記載事項）		公表方法：https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai.html (6.学修の成果・卒業の認定の基準、10.その他の学修成果・教育の質等に関する情報)		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai/07_02.pdf

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料（年間）	入学金	その他	備考（任意記載事項）
	ライフデザイン学科（１年）	550,000 円	240,000 円	370,000 円	施設費、教育充実費、在籍料
	ライフデザイン学科（２年）	550,000 円	240,000 円	330,000 円	施設費、教育充実費、在籍料
	幼児教育学科（１年）	550,000 円	240,000 円	370,000 円	施設費、教育充実費、在籍料
	幼児教育学科（２年）	550,000 円	240,000 円	330,000 円	施設費、教育充実費、在籍料

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a.学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） ・入学前教育、初年次教育の実施 ・指導教員及び教務委員会による履修モデルに基づいた履修指導を実施 ・学期終了時の学修成果、単位獲得状況に応じた学修指導の実施 ・学修ポートフォリオを基本とした学修指導及び学生生活支援の実施
b.進路選択に係る支援に関する取組
（概要） ・キャリア支援委員会によるガイダンスの実施 ・キャリア支援室の設置（専用室の設置） ・進路希望調査の実施 ・教育・進路懇談会（保護者及び学生）の実施
c.学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） ・学生定期健康診断の実施 ・健康診断問診票による心身の健康等の把握 ・担当教職員による学生相談の実施（学生生活、家族、恋愛等） ・指導教員及び学生委員会による学生生活上の各種事項の助言・指導等の実施

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：https://www.meitan.ac.jp/daigaku/kokai.html

備考　この用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F238310110430
学校名（○○大学 等）	今治明徳短期大学
設置者名（学校法人○○学園 等）	学校法人　今治明徳学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		18人（ 11 ）人	18人（ 10 ）人	18人（ 11 ）人
内訳	第Ⅰ区分	—人	—人	
	（うち多子世帯）	（ — 人）	（ — 人）	
	第Ⅱ区分	—人	—人	
	（うち多子世帯）	（ — 人）	（ — 人）	
	第Ⅲ区分	—人	—人	
	（うち多子世帯）	（ 0 人）	（ — 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	—人	—人	
	区分外（多子世帯）	—人	—人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				18人（ 11 ）人
（備考）				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）第４条第２項第１号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第２号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	0人	0人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

（１）停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	0人	―人

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	人	―人	―人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	―人	―人
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。